

## WHO 国際統計分類(WHO-FIC)ネットワーク年次会議(バルセロナ)報告

主催	カタロニア厚生省健康安全評価庁(AQuAS)、事務局 WHO
開催期間	平成 26(2014)年 10 月 11 日(土)~17 日(金)
会場	バルセロナ国際会議場
参加者	WHO、各 WHO 国際分類協力センター、各国政府厚生・統計関係部局、NGO、オブザーバー等 約 100 名

## 【主な議論】

## 1. ICD-11 改訂スケジュール

- レビュー等に使用する ICD-11 ベータ版の凍結版は、2014 年 10 月版を公表。今後も凍結版を出す予定。
- レビュー(Review)作業は、レビューアの登録が不十分なため、2015 年前半にレビュープロセスを開始する予定。
- フィールド・トライアル(FT:Field Trial)は、入力用プラットフォーム(ICD-FiT)を作成中。実施内容は、3 種類の基本調査(基礎的な質問、ブリッジコーディング、信頼性評価)を予定している。2015 年 3 月までに、FT で使用する様式の翻訳、学習ツール等の準備を終えることを想定。

## 2. ICD-11 改訂関連ツール

- WHO より、ICD-11 ブラウザー、ICD-11 提案メカニズム(ベータ版に対する修正提案を投稿するウェブサイト、提案に対するコメント、採択の是非等が記録される)、翻訳プラットフォーム等が紹介された。

<http://apps.who.int/classifications/icd11/browse/f/en>

## 3. 各委員会等における議論

- 教育普及委員会(EIC:Education and Implementation Committee)では、共同議長に日本協力センターの横堀由喜子氏が選出され、同センターが事務局を担うこととなった(任期は2年)。また、生活機能分類(ICF)ウェブ・トレーニングツールが 2014 年 6 月に WHO に承認され、WHO ウェブサイト掲載に向け作業が進められている(2015 年初めを予定)。
- 情報科学用語委員会(ITC:Informatics and Terminology Committee)では、東北大学大学院の中谷教授が、「Clinical Omics sub information model for ICD11 (iCOs)」について発表した。
- 医療行為の分類(ICHI)は、WHO-FIC ネットワークで作成を進めている ICHI  $\alpha$  2 版と米国医師会(AMA)が保有する CPT(Current Procedural Terminology)を統合する方向で AMA と協議が進められている。

※改正改訂委員会(URC:Update and Revision Committee)の議論は、資料 3-2 参照

## 4. 今後の会議日程

- 2015 年は英国・マンチェスター、2016 年は日本・東京で開催の予定。